

**令和3年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 都市活力 部 まち資源 室 文化振興 課

1. 基本情報

1002

施設名	伊丹市立音楽ホール（伊丹アイフォニックホール）		
施設の設置目的	音楽を中心とした文化事業の振興を図り、文化の発展に資する。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：市民力・にぎわい・活力 施 策：歴史・文化 実施施策：芸術・文化活動の促進		
指定管理者の名称	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	120,000	今年度の実績値 63,726

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H29	H30	R元	R2	R3 (上期)	R3 (通期)
	来館者数 (人)		121,875	108,006	113,389	105,570	43,790	27,201
貸し室稼働率 (%)		60	73	73	70	46	48	50
延べ事業開催回数(回)		22	152	155	145	101	27	161
延べ事業参加者数(人)		4,353	10,243	10,767	9,901	2,554	1,095	4,469

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

区分		令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	3カ年平均
収入	使用料収入	23,521	9,672	18,496	17,230
	事業収入	9,471	2,886	2,469	4,942
	その他	0	7,078	3,417	3,498
	指定管理委託料	80,120	77,962	80,233	79,438
	①合計	113,112	97,598	104,615	105,108
支出	維持管理				
	光熱水費	11,606	8,541	10,065	10,071
	清掃等委託料	27,767	27,053	27,731	27,517
	土地建物賃料	0	0	0	0
	修繕料	2,090	2,775	2,731	2,532
	運営				
	人件費	46,919	45,036	45,569	45,841
	事業等経費	18,868	8,546	10,174	12,529
その他	1,184	1,241	1,365	1,263	
指定管理納付金	0	0	0	0	
②合計	108,434	93,192	97,635	99,754	
純収支 (①-②)		4,678	4,406	6,980	5,355

		H28	H29	H30	R元	R2	R3
施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>	市の収入	3,761	3,657	3,093	2,973	11,448	3,281
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	91,175	95,552	90,920	92,922	99,344	81,833
	(内、指定管理委託料)	79,603	76,940	78,617	80,120	77,962	80,233
	実質経費 (歳出-歳入)	87,414	91,895	87,827	89,949	87,896	78,552

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	B	開館から30年が経過し、施設設備の老朽化が進むが、利用者の利便性と安全、費用対効果を考慮し、市とも連携して対応した。美観維持のため丁寧な清掃のほか、節電にも心掛けている。	B	経年劣化もあるなか、市民サービスを低下させないよう、丁寧な清掃を心がけるなど適切な施設管理に努めている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	施設の運営に必要なスキル、情報、人脈を得るための研修や視察等に積極的に参加した。若手職員の定期研修を増やした。	B	研修や視察等を通じ、外部と積極的に交流し、多様な人材の育成に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	消防避難訓練を上下期各1回ずつ、年2回実施した。	B	定期的に訓練を行い、有事への備えを怠っていない。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	開館30周年記念公演では市民のリクエスト曲を反映した。感染症対策により様々な影響を受けた育成団体などの市民主体の音楽活動に対し、相談やサポートに取り組んだ。	B	記念公演では市民に寄り添った事業を実施した。また、育成団体に対するサポート等、コロナ禍の下で適切な取組を行っている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	制限基準内の事業については、できる限りの感染症対策を施した上で実施した。	B	制約があるなかで、適切に事業を実施した。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	感染対策による施設の利用条件の変更や事業案内をSNSやHPを通じて迅速に発信するなど対応した。	B	キャラクターを活用したSNS発信をするなど、施設利用者へ迅速で適切な情報提供を行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	感染症の影響による減収に対し、助成金の獲得や経費削減に努め、対応した。	B	助成金を活用するほか、適正な事業運営に取組んでいる。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	
総合評価	コロナ禍という制約の下、利用者の安全を第一としながら開館30周年記念コンサートを実現させた。また、適切に人材育成を行っているほか、工夫したSNS発信に努めている。
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和3年 4月 1日～令和 4年 3月 31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	館内の清掃は行き届き清潔に保たれていますか 「非常にきれい」「きれい」92%	開館から30年以上が経過し、各所に経年劣化が認められるが、計画的な修繕や美観・安全の維持に努め、感染症対策における衛生面も含め、皆様がより気持ちよくご利用いただけるよう取り組んでまいります。
	職員の接客態度はいかがでしたか 「大変満足」「満足」87%	
786	施設を利用しての満足度はいかがですか 「大変満足」「満足」91%	現状に甘んじることなく、今後も利用者喜んでいただける施設、事業運営を目指してまいります。
	少しマスクをずらしただけで注意された。	

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置